

素顔のご入居者 第四十七回

自分で決めるから人生は楽しい

鷹野 玲子様
たかの れいこ

誇りと愛情を持って走り続けた会社員人生にピリオドを打ったのは70歳。「仕事は必ず人を成長させてくれます。」と語る鷹野さんは働く女性の芯の強さと優しさを併せ持った方でした。

●仕事に支えられた52年と有料老人ホームの縁



充実した毎日をお過ごししの鷹野様

私は会計事務所に勤めた後、ある自動車販売店に転職しました。

当初は従業員9名の小さな販売店でした。

40年も前の事ですが、ある時仕事の関係で有料老人ホームの存在を知りました。自分がこういうところに入居するとは想像もありませんでしたが、こんな将来もあるのだと驚き、以来、頭の片隅にずっとありました。

会社はその後少しずつ大きくなり、従業員が増え店舗も6店舗になりました。仕事は益々大変になりましたが、自分達の努力で会社が育っていくような感覚が励みでした。

70歳の時、会社の更なる発展を後進に託し引退しました。引退した後は趣味や旅行で自分の時間を楽しむ生活を始めました。友人と一緒に老人ホームの見学も始めました。見学した施設の中

で温かみのあるゆうゆうの里が気に入りました。

●私の選んだ「周りに迷惑をかけない生き方」

独り暮らしの私は自宅で何かあつたら誰かの手を借りなければいけません。以前からできるだけ周りに迷惑をかけない生き方をしたいと考えていました。気に入ったゆうゆうの里へ入居を決めたのもその思いからです。

空室待ちのある年の暮れ、体操教室で転倒して左腕を骨折し、病院で年を越す羽目になりました。2度の手術をして完治するまで10ヶ月かかりました。その間周りには本当に迷惑をかけました。車の運転が出来ない片腕生活では想像を超える不便さを経験しました。実際に体験すると痛感しますね。自分の選択は間違えてはいませんでした。

●幸せな人生の秘訣

ゆうゆうの里に入居をして、会えば話をする知り合いも出来ました。毎朝のラジオ体操や脳トレーニングにも参加したりして



絵手紙も楽しみのひとつ

自分に無理のないペースで生活しています。以前からの趣味や友人とのお付き合いも変わらず続いています。時々俳句仲間と吟行に出かけたりもします。旅先で俳句を詠み、作品の出来が良くても悪くてもみんなで大笑いします。ご当地の美味を味わうのも楽しみのひとつです。

私は今まで人生の節目に立った時、進む道を自分で決めてきました。迷って周りに相談したとしても最後に決めるのは自分だと思っています。此処は自分の選んだ道の先にたどり着いた場所です。自分で選んだ場所だからこそ今の幸せがあります。